

平成30年度
藤蔭高等学校 後期入学試験問題
数 学 (50分)

試験開始の合図があるまで、この「問題」を開かず、下記の注意事項をよく読んでください。

注 意 事 項

1. 試験中は、わき見をしたり、勝手に話をしてはいけません。道具の貸し借りもしてはいけません。不正行為のないように注意してください。
2. 試験中の途中退場はできません。
3. 試験中、気分が悪くなった人は、黙って手をあげてください。
4. 問題用紙と解答用紙は別々の用紙です。答は解答用紙に書いてください。解答用紙には受験番号と名前をはっきり書いてください。
5. 問題に脱落や印刷の不鮮明な部分などがあったら、黙って手をあげてください。
6. 試験が終わったら、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。問題用紙は持ち帰ってください。

受 験 番 号	名 前

【1】 次の (1) ~ (5) の計算をなさい。

(1) $2-5$

(2) $3 \times (-2)^2 - 3^2$

(3) $\frac{x-3y}{2} - \frac{2x-7y}{6}$

(4) $4xy^2 \times (-x^3y) \div 2x^3y^3$

(5) $3\sqrt{8} - \frac{10}{\sqrt{2}}$

【2】次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

(1) 2次方程式 $x^2 - 3x + 1 = 0$ を解きなさい。

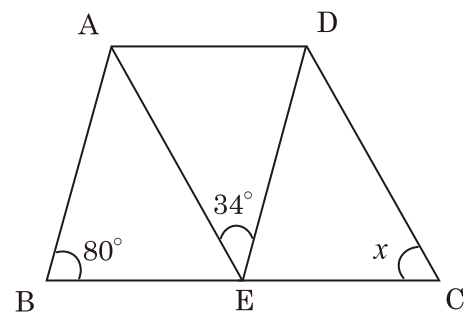
(2) 連立方程式 $\begin{cases} x - 2y = 23 \\ 3x + 5y = -8 \end{cases}$ を解きなさい。

(3) 大小2つのさいころを同時に投げる。大きいさいころの目の数を x ，小さいさいころの目の数を y とするとき， $x + 2y > 15$ を満たす目が出る確率を求めなさい。

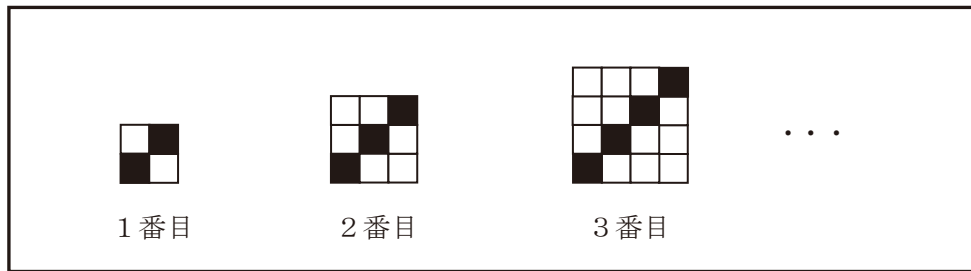
(4) 次の数のうち，2番目に小さい数はどれか，記号で答えなさい。

(ア) $\frac{3}{2}$ (イ) $\sqrt{\frac{3}{2}}$ (ウ) $\frac{3}{\sqrt{2}}$ (エ) $\frac{\sqrt{3}}{2}$

(5) 右の図のように， $AD \parallel BC$ の台形 $ABCD$ がある。
点 E は辺 BC の中点であり， $AB \parallel DE$ である。
 $\angle ABE = 80^\circ$ ， $\angle AED = 34^\circ$ のとき， $\angle x$ の大きさを求めなさい。



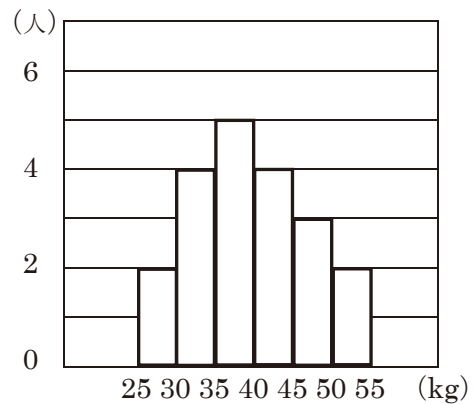
(6) 正方形の白と黒のタイルを、下図のように規則的に並べるとき、次の①、②の問いに答えなさい。



① 5 番目のとき、白のタイルは何枚あるか答えなさい。

② n 番目のとき、白のタイルは何枚あるか、 n を用いて表しなさい。

(7) 右の図は、ある中学校の野球部員 20 人の握力の記録を、ヒストグラムに表したものである。このとき、次の①～③の問いに答えなさい。

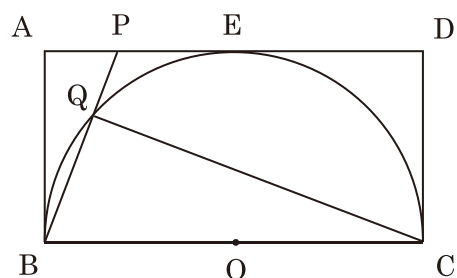


① 最頻値 (モード) を求めなさい。

② 握力が 35kg 未満の部員の割合は、全体の何%であるか答えなさい。

③ 野球部員 20 人の握力の平均値は 39.5kg で、3 年生 8 人の平均値は 42.5kg であった。このとき、3 年生以外の部員の握力の平均値を求めなさい。

【3】右の図のように、 $AB = 6\text{ cm}$ 、 $BC = 12\text{ cm}$ の長方形 $ABCD$ がある。辺 BC の midpoint O を中心に半円を描き、半円と辺 AD が接する点を E とする。また、線分 AE 上に点 P をとり、線分 BP と半円の交点のうち、 B とは異なる方を Q とする。このとき、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。



(1) $\triangle ABP$ と $\triangle QCB$ が相似であることを以下のように証明した。()に適する語句や記号を入れなさい。また、Aには適する相似条件を入れなさい。

(証明) $\triangle ABP$ と $\triangle QCB$ において、
 長方形の1つの角なので、
 $\angle BAP = 90^\circ \dots\dots ①$
 また、 $\angle CQB$ は直径 BC の (ア) であるから、
 $\angle CQB = 90^\circ \dots\dots ②$
 ①, ②より
 $\angle BAP = \angle CQB \dots\dots ③$
 次に、長方形の向かい合う辺であるので、
 AD (イ) BC
 よって、 $\angle APB$ と $\angle QBC$ は (ウ) の位置関係にあるから、
 $\angle APB = \angle QBC \dots\dots ④$
 ③, ④より A ので、
 $\triangle ABP$ (エ) $\triangle QCB$ (証明終わり)

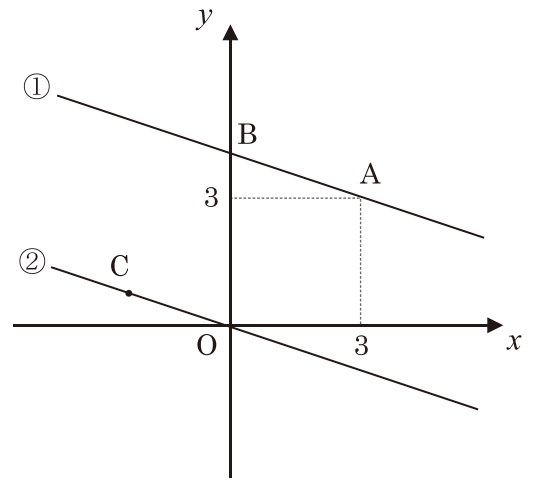
(2) $\angle ABP = 30^\circ$ のとき、次の①, ②の問いに答えなさい。

- ① 線分 BQ の長さを求めなさい。
- ② 弧 BQ の長さを求めなさい。ただし、円周率は π とする。

(3) $\triangle ABP$ と $\triangle QCB$ の面積の比が $4 : 9$ のとき、線分 BP の長さを求めなさい。

【4】右の図のように、 $y = -\frac{1}{3}x + 4 \cdots \text{①}$ と $y = -\frac{1}{3}x \cdots \text{②}$ の

グラフがある。直線①上に点A(3, 3)をとり、直線①がy軸と交わる点をBとする。また、直線②上の $x < 0$ の部分に点Cをとる。Oを原点として、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。



(1) 点Bの座標を求めなさい。

(2) 四角形ABCOが平行四辺形になるとき、点Cの座標を求めなさい。

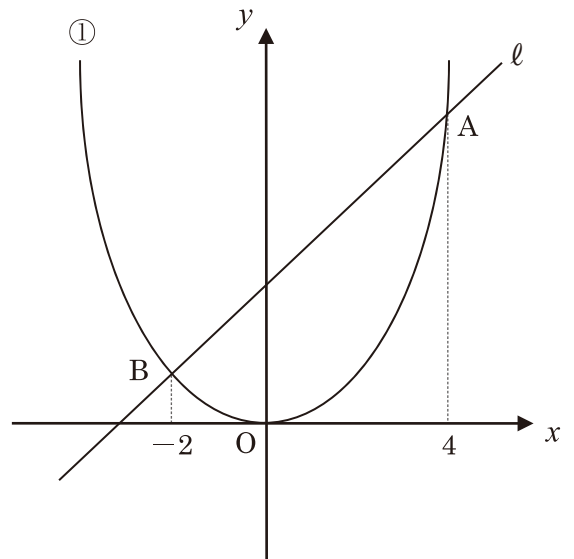
(3) 四角形ABCOの面積が $\triangle OAB$ の面積の3倍になるとき、点Cの座標を求めなさい。

(4) 点Aを通り、 $\triangle OAB$ の面積を2等分する直線の方程式を求めなさい。

(5) 点D(0, 3)とする。このとき、点Dを通り、 $\triangle OAB$ の面積を2等分する直線の方程式を求めなさい。

【5】右の図のように、関数 $y = \frac{1}{2}x^2 \dots \textcircled{1}$ のグラフが

あり、直線 ℓ と 2 点 A, B で交わっている。点 A, B の x 座標はそれぞれ 4, -2 である。O を原点として、次の (1) ~ (5) の問いに答えなさい。



(1) 点 B の y 座標を求めなさい。

(2) 関数 $\textcircled{1}$ について、 x の値が -2 から 4 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

(3) 直線 ℓ の方程式を求めなさい。

(4) 関数 $\textcircled{1}$ について、次の $\boxed{\text{ア}}$, $\boxed{\text{イ}}$ に適する数をそれぞれ求めなさい。

x の変域が $-2 \leq x \leq 4$ のとき、 y の変域は、 $\boxed{\text{ア}} \leq y \leq \boxed{\text{イ}}$ である。

(5) x 軸上に点 P をとり、その x 座標を p とする。 $\triangle PAB$ の面積が $\triangle OAB$ の面積の 2 倍となるとき、 p の値を求めなさい。ただし、 $p > 0$ とする。

【1】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)



【2】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
$x =$	$\begin{cases} x = \\ y = \end{cases}$			度
(6)		(7)		
① 枚	② 枚	① kg	② %	③ kg



【3】

(1)	ア	イ	ウ	エ
	A			
(2)	① cm	② cm	(3)	cm



【4】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
B(,)	C(,)	C(,)	$y =$	$y =$



【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
$y =$		$y =$	ア イ	$p =$



受験番号	名前

合計点	
-----	--